

○自作資料の概要

	場面・話のあらすじ
展開前段 教師の説明 とインタビュー映像 (3分程度) 教師の説明 発問1	<p>①練習風景を見せて紹介する。</p> <p>②パラリンピックに3度出場するまでの人生を、パワーポイントとインタビューを見せて、紹介。 (インタビュー内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走るようになったきっかけ (8歳で失明, 33歳の時, 盲人でホノルルマラソン42.195キロを走った人のことを知り, 自分も挑戦してみることにした。) ・走る距離を少しずつ伸ばし, 目標を少しずつ高くしていったこと ・一人での練習方法(グラウンドに杭を打ち, そこから20メートルのロープを引き, 自分の腰に巻いたチューブにつなげる) <p>③2003年にパラリンピック選考会で落選したことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2004年のアテネパラリンピックを目指していたが, 2003年, 合宿中にプールに入ろうとして転倒, 病院での診察の結果, 左足の半月板をかなり痛めていることが判った。可能性を信じて, アテネへの選考会を走った。完治には程遠い足をかばいながら約3時間9分で完走。 <p>○悔しくて涙が止まらなかったのはなぜだろう。</p>
展開中段 発問2 教師の説明	<p>○もし, あなたが柳川さんの立場だったら, この後どうすると思いますか。その理由も書きましょう。(ワークシート1に記入)</p> <p>④柳川さんのその後を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を失い, 落ち込む日々が続いたが, 走ることは続けたいという思いで走り続け, 2004年アテネパラリンピックの年にホノルルマラソンに出場し, 9時間29分で完走。実力的にその次の北京マラソン(2008年)を目指すのは厳しいと感じた。同じ年のある日, 出席した結婚式場で, ある競技をしている人と出会った。 ・そして新たな挑戦が始まった。(トライアスロン) 2005年に唐津の大会で初出場し完走。昨年(2011年)には, 長崎県で, 海でのスイム3.8キロと自転車180キロとフルマラソン42.195キロのトライアスロンに挑戦し, 完走した。 ・そして新たな目標ができた。(4年後のリオデジャネイロパラリンピックへの出場)
展開後段 発問3	<p>◎挫折から立ち直ることができた柳川さんが, 心の中にもっていたものは何だろう。 (ワークシート2に記入)</p> <p>○補助発問「あなたは, 挫折した時に, 心の中に何をもっていたいですか。」</p>
終末 柳川さんからのメッセージ (映像) 教師の話	<p>○柳川さんの生き方を知って感じたことや, 自分の夢や目標について考えたことを書きましょう。</p> <p>柳川さんの言葉を4つ紹介する。</p>